



菅波 茂

「世界都市」と「国際都市」。  
この似て非なるもの違いを私なりに説明してみる。世界中から人々が集まって来ることには、両者は変わらない。戦争になったときに爆弾を落とされる可能性が高いのが「国際都市」で、爆弾を落とされないのが「世界都市」である。太平洋戦争中に岡山市は空襲を受けたが、倉敷市は無事だった。なぜか。答は一つ。「大原美術館」の存在だ。この美術館には世界の名画という、いったん失えばお金で買えないものがあつたからであ

2000.4.20

## 現在「世界都市」の資格には 2種類あるだろう。一 つは偉大な文化遺産を 持っていること。もう 一つは国連機関の所在 地であること。ジュネ ーブ、ウィーン、ニュ ーヨークなどだ。 第3の「世界都市」 の条件を提唱したい。 それは「人道援助の世 界都市」である。燃 えない。岡山が燃えた のは、阪神大震災のと きの県民あげての救援 活動だった。弱者の存 亡に共鳴する精神。これ は人道援助の精神でも ある。これが本当の

る。

現在「世界都市」の資格には

世界に誇れる岡山市の財産である。

AMD Aは世界に28カ国に支部を持つ、アジア、アフリカ、中南米を代表する国連NGOとして成長している。世界が必要とする「岡山」も夢でなくなってきた。そのための中核施設群として、国際貢献大学校、国際医療協力センター、国際宗教センター、そしてインターナショナルスクールなどが必要になるだろう。

岡山市が提唱する「国際・福祉都市」構想と、この「人道援助の世界都市」構想には限りない共通性がある。21世紀の「大原美術館」を夢見たい。

(アジア医師連絡協議会代表、題字は筆者)